

令和7年 業種別労働災害発生状況（確定値）

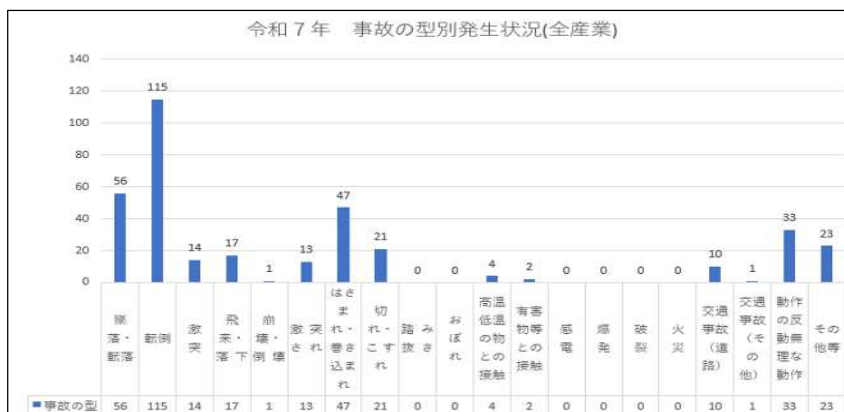
北見労働基準監督署

区分 業種別	令和7年			前年同期			対前年		業種割合	令和6年確定値			
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計	
全産業合計	3	354 [115]	357 [115]	5	355 [88]	360 [88]	-3	-0.8	100.0	5	355	360	
製造業		69 [18]	69 [18]		56 [18]	56 [18]	13	23.2	19.3		56	56	
内 訳	食料品	37 [13]	37 [13]		32 [13]	32 [13]	5	15.6	10.4		32	32	
	木材木製品	15 [2]	15 [2]		11 [1]	11 [1]	4	36.4	4.2		11	11	
	窯業・土石	5 [1]	5 [1]		1	1	4	400.0	1.4		1	1	
	金属・機械	6	6		6 [2]	6 [2]			1.7		6	6	
	その他	6 [2]	6 [2]		6 [2]	6 [2]			1.7		6	6	
鉱業					1	1	-1	-100.0			1	1	
建設業	1	35 [5]	36 [5]	2	46 [7]	48 [7]	-12	-25.0	10.1	2	46	48	
内 訳	土木工事業		15 [1]	15 [1]	2	20 [3]	22 [3]	-7	-31.8	4.2	2	20	22
	建築工事業		13 [3]	13 [3]		15 [4]	15 [4]	-2	-13.3	3.6		15	15
	木造建築業	1	3	4		8	8	-4	-50.0	1.1		8	8
	設備工事業		4 [1]	4 [1]		3	3	1	33.3	1.1		3	3
道路貨物運送業	1	27 [10]	28 [10]		26 [5]	26 [5]	2	7.7	7.8		26	26	
その他の運輸業		12 [8]	12 [8]		7 [3]	7 [3]	5	71.4	3.4		7	7	
陸上貨物取扱業								-					
港湾運送業								-					
林業	1	10 [1]	11 [1]	2	9 [2]	11 [2]			3.1	2	9	11	
漁業		13	13		18 [2]	18 [2]	-5	-27.8	3.6		18	18	
商業		60 [30]	60 [30]		44 [20]	44 [20]	16	36.4	16.8		44	44	
清掃・と畜業		20 [10]	20 [10]		15 [5]	15 [5]	5	33.3	5.6		15	15	
上記以外の事業		108 [33]	108 [33]	1	135 [26]	134 [26]	-26	-19.4	30.3	1	133	134	

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)、死亡災害の報告により集計したもので、[]内の数字は、転倒災害の件数で内数です。

本統計は、北海道労働局ホームページからダウンロードできます。

○令和7年の労働災害発生状況は、前年と比較し、3名減の357名となりました。転倒災害が前年比27名(30.7%)増加し、転倒災害は1月から3月までと12月の冬季に多発しました。また、製造業、商業等の業種で労働災害が増加しました。
 なお、新型コロナウイルスによる労働災害を除いた発生件数は前年より増加(全産業で38名増、12.5%増。)しました。



令和7年 死亡労働災害発生状況

北見労働基準監督署

件数	発生日時間帯	事業の種類	職種	災害の種類	災害発生状況の概要
				起因物	
1	1月 15時台	林業	作業員	激突され	被災者は、同僚らとともに間伐現場に入場し、単独でチェーンソーを用いて伐木作業を行っていたが、作業終了時刻になっても戻らず、伐倒木の下で倒れた状態で発見されたもの。伐倒木の根株の近くの地面にチェーンソーが刺してあり、また、損傷のない腰袋及びヘルメットが置いてあった。
				立木等	
2	1月 14時台	建築工事業	作業員	墜落	高さ約2メートルの箇所の壁に、約1.8m×0.9m、重量約19.5kgの石膏ボードを貼り付けるため、被災者が脚立の2段目の踏みさん(高さ約1.6m)にまたがって、壁に立てかけた石膏ボードを持ち上げた際、脚立から墜落したものの。
				脚立	
3	3月 11時台	道路貨物運送業	運転手	交通事故	被災者は、当署管内の荷主先からセミトレーラ(最大積載量21.4t、積載約20t)をけん引して帯広方面に向かい走行中、路面がアイスバーンのため低速で走行していたが、右カーブでスリップして反対車線の路肩から転落し、運転席が電柱と接触して大破したものの。
				トラック	

脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。